



プレーパーク レポート

第14号

2022年7月
小鹿野町



食紅で色水遊び！色をつくるのって楽しい！

遊びあふれる小鹿野の遊び場！

100人近い参加者が集い活気があった6月のプレーパークの様子についてレポートします。

今回、子どもたちの遊び心を一番刺激していたのは「色水遊び」でした。粉末の食紅で赤、黄色、青の三原色入った色水ペットボトルを用意して、子どもたちは空のペットボトルなどに好きな組み合わせで色水を移して、様々な色をつくって楽しんでいました。

私たち大人は「赤と青を混ぜると紫色になる」ことを育ちの中で経験や知識としてすでに持ち合わせています。しかし、子どもたちはそうではありません。常に「混ぜたらどんな色になるんだろう？」という探求心や実験精神で目の前の事象に心を奪われています。

「せっかくキレイな色なのに、混ぜたら台無し…」、「そんなに全部まぜたらもったいない…」など、大人の心にはきっとそんな思いが浮かぶでしょう。

プレーパークは遊びを通じて子どもたちが育つ場です。大人たちはぐっと言葉を飲み込んで、逆に発展途上の子どもたちのドキドキワクワクを楽しんでみてください！



遊びの様子

色水の他、人気があった遊びは木工工作、そしてミストシャワーとシートを使ったスライディングスライダーでした。また、シャボン玉、焚き火、虫捕り、ロープ遊具のブランコなどでも楽しく遊びました。

シャボン玉遊びでは途中からミストやスライダーで濡れた子どもたちが掌でシャボン玉をつかむ「シャボン玉キャッチ」がはやっていました。

風で流れるシャボン玉を追って駆け回る子ども達。キャッチしたシャボン玉を嬉しそうに大人に見せて回っていました。



焚き火での火おこしも恒例となってきましたね。火おこしたいとの子どもからのリクエストから始まり、みんなで焚き付けの薪にする枯れ枝探しに散らばります。

火をおこすのは大人の見守りの元、子どもたちがマッチを擦って着火です。火が起きると差し入れていただいたマシュマロがあり、みんなで少しずついただき美味しくいただきました。

木工工作は大人気で、集めていた大量の木っ端も段々少なくなってきました。

30℃の高温で動くと暑い一日でした。まずは広場の水道からホースを延ばしてミストシャワーを設置。園芸用の散水チューブを活用した涼しく楽しい遊びです。

ミストの設置は高いケヤキの木の股にロープを延ばしてかけるのですが、最近はこの作業は子どもたちが率先して担ってくれています。交代で数人の子どもたちが木の股に向かってロープに結び付けた重しを投げて挑戦しています。

成功して、ロープがかかった時の歓声と喜びの笑顔がいつもまぶしいです。



ハイライト



その後、芝地のままでも気持ち良いのですが、シートを敷いてスライディングして滑る遊びに発展しました。

助走をつけて上手く滑りこむ子どももいれば、助走がうまく滑り込みに連動せずに寝転ぶだけの子など千差万別。うまく滑る必要もなく、みんな、自分の楽しいを探求しています。はじめは濡れることを躊躇していた子どもも最後は全身びしょ濡れで満面の笑みで帰っていきました。